

# 5月13日(水)日高町集会・2026年原水爆禁止国民平和行進

## 日本政府は禁止条約の署名・批准を



田中達也副町長

西岡佳奈子町会議員

日高町平和行進

5月13日(水)日高町です。集会前、新日本婦人の会の方と県事務局で、町長室と議長室を訪問しました。田中達也副町長とは平和行進について、短時間の懇談をしました。

日高庁舎前で平和行進出発集会です。最初に、県実行委員会から「5月7日に平和行進は橋本市を出発しました。核兵器廃絶、憲法守ろう、非核三原則を守ろうと訴えて歩いています。高野山では、外国の青年が行進に参加してくれました」と紹介。

次いで、松本秀司日高町長のメッセージ披露です。「世界では、ロシアによるウクライナ侵攻など武力衝突や地域紛争が続き、多くの尊い命が奪われています。さらにアメリカ・イスラエルとイランの軍事衝突など中東情勢の緊張の高まりなど平和を脅かす深刻な状況が続いています。こうした中で核兵器の使用の懸念も高まっており、さらなる命の大切と恒久平和、核兵器も戦争もない世界が強く求められます」と田中達也副町長が代読します。又、議会よりメッセージを頂いている事も紹介されます。

西岡佳奈子町会議員からは「国連でNPT(核不拡散)再検討会議が開催されています。最終的な合意文書を出す努力が重ねられています。共産党の吉良議員は、核不拡散条約6条の履行を求める成果文書の為に、日本政府が努力する事を求めました。第6条は、すべての加盟国が核兵器国も含め核軍縮・核兵器の撤廃のための誠実な交渉をしていくものなのですが、その6条の履行のために多くの国々が具体化の討論をするなかで、日本政府はその事には触れませんでした。その事をただして残された期間で努力することを求めましたが、日本政府は米国など核兵器保有国に忖度している実態です」と連帯の挨拶をおこないます。

次いで、わかやま市民生協の平田さんより決意表明がおこなわれます。最後、集会アピールが読み上げられ、採択されました。

平和行進は、国道42号線を南にJAひだかの前まで歩いて、そこから折り返し176号線を北に歩いて日高町役場へと戻って来ました。集会参加は18人でした。 本日は、紀美野町と美浜町での平和行進となります。 県原水協事務局